

苫小牧港における内外貿易の促進を図り
港湾の振興と発展に寄与する

In North Japan
Port of Tomakomai

苫小牧港利用促進協議会

「苫小牧港セミナー in ジャカルタ」報告書

- 日程 平成25年11月5日（火）～ 9日（土）
※セミナー開催
日時：平成25年11月 7日（木）18時30分～20時00分
場所：Pullman Jakarta Indonesia 「Grand on Thamrin1」

- 参加者 21名

●内容

○第1日目 11月5日（火）

午前7時20分、新千歳空港国際線ロビーに集合し、苫小牧市長の挨拶の後、出国手続を行い搭乗口へ。



午前8時55分、大韓航空KE796便により出発、韓国インチョン空港経由でジャカルタへ。

午後8時40分、予定どおりジャカルタ到着。JICA佐々木様の出迎えを受け、バスによりホテルへ。



○第2日目 11月6日(水)

午前8時20分、ホテルを出発。

午前9時30分、国営企業ペリンド2、コンテナターミナル運営会社JICTを訪問した後、インドネシア最大の港湾であるタンジュンプリオク港を視察した。





昼食後、インドネシア伝統的船舶の港であるスンダクラパの視察を行った。次行程への道中にバスの中からモナス（独立記念塔）、東南アジア最大のモスク（イスラム教寺院）を見学した。



午後4時00分、在インドネシア日本国大使館を訪問し、上出1等書記官と懇談した。（大使館内はセキュリティーが厳重で、カメラ・携帯の持ち込みは禁止）

○第3日目 11月7日（木）

午前9時00分、ホテルを出発。

午前9時30分、ジャカルタ・ジャパン・クラブを訪問し、JETRO上席課長の藤江様より「インドネシアの食文化に関する説明」、ジャカルタ・ジャパン・クラブ運輸部会理事で日本郵船支店長である森澤様より海運事情に関する説明を受けた。



午前11時30分、市内の「パシフィックレス」、昼食後に「グランド・インドネシア」という2つのショッピングモールを訪れ、日本からの輸入食品の状況やインドネシアの経済状況を見学した。



午後3時00分、事前に希望があった参加者のみインドネシア運輸省への表敬訪問に出発。その他の参加者と事務局3名（沼倉、白川、坂本）はホテルへ戻った。（事務局はセミナー準備）



午後6時00分、「苫小牧港セミナーinジャカルタ」受付開始。



午後6時30分、「苫小牧港セミナーinジャカルタ」開会。現地からの参加者はおよそ65名程度の出席があった。（別紙名簿参照）苫小牧市長の挨拶後、柏葉専任副管理者のプレゼンテーションを行い、苫小牧栗林運輸株式会社 代表取締役社長 栗林様の乾杯により懇談・交流となった。



午後8時00分、北洋海運株式会社 代表取締役社長 上遠野様の挨拶により閉会とした。セミナー終了後は、ホテル内のレストランにおいて、苫小牧からの参加者での反省会を開催した。



○第4日目 11月8日(金)

午前8時15分、ホテルを出発。

午前9時45分、MM2100工業団地にて丸紅株式会社 倉永様より概要説明の後、バスにて視察を行った。



昼食後、インドネシアの各地の文化を再現したテーマパークのタマンミニを訪れ、多様性を実感した。全行程中、初の雨天となりインドネシアのスコールを体感できた。



午後7時30分、インドネシアの空港到着、出国手続きを行い搭乗口へ。

午後10時5分、大韓航空KE628便により出発、韓国インチョン空港経由で日本へ。

○第5日目 11月9日(土)

午後0時45分、新千歳空港、到着後、ロビーで市長の挨拶があり各自解散とした。

